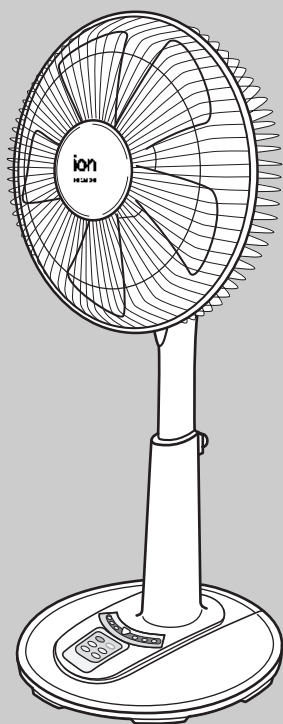
取扱説明書
（保証書付き）

HITACHI
Inspire the Next

日立扇風機　リビング扇

H-M303RX形

このたびは日立扇風機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

もくじ

仕様

項目	50Hz	60Hz
定格電圧(V)	100	
定格周波数(Hz)	50	60
定格消費電力(W)	28	32
最大風速(m/min)	185	190
風量(m^3/min)	42	44
首振り角度(度)	0・50・75・100	
質量(kg)	3.9	
コードの長さ(m)	1.9	

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。		してはいけない「禁止」内容のものです。		必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警告

 分解禁止	**改造は行わない。また、修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理を行わない** ●火災・感電・けがの原因になります。	 禁止	**電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない** ●感電・ショート・発火の原因になります。
 電源プラグを抜く	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない** ●感電やけがをすることがあります。		**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない** ●電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしない** ●ショート・感電・発火の恐れがあります。		**交流100V以外では使用しない** ●火災・感電の原因になります。
 禁止	**羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない** ●モーター部が飛び出して、けがの原因になります。		**マイナスイオン放出口に指や針金などを差し込まない** ●高電圧がかかっており、感電・けが・故障の原因になります。
	羽根、ガードをつけずに運転しない ●モーターが回転し、けがの原因になります。		**スライドパイプを縮めたままお手入れをしない** ●誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをする恐れがあります。
	組み立てや取り外しの際は、電源プラグを差し込まない ●感電やけがの原因になります。		

⚠ 注意

 電源プラグを持つ	**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く** ●感電やショートして発火することがあります。	 禁止	**次の場所では使わない** ＊ガスレンジなどの近く ＊引火性ガスのあるところ ＊雨や水しぶきのかかるところ ●炎の立ち消え、火災・感電の原因になります。
 使用中止	**本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する** ●羽根やガードが外れ、けがをする恐れがあります。		**風を長時間、からだにあてない** ●健康を害することがあります。
 電源プラグを抜く	**使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。		**障害物のそばや、不安定な場所では使わない** ●転倒によりけがをする恐れがあります。
			髪をガードに近づけすぎない ●髪が巻き込まれけがをする恐れがあります。
		 接触禁止	**ガードの中や可動部へ指などを入れない** ●けがをする恐れがあります。

使用上のご注意

殺虫剤をかけたりしない
- 変色､破損などの原因になります。

油、ほこり、溶剤や薬品などのつきやすい場所では使わない
- 破損、変形、故障などの原因になります。

横を向いている扇風機を無理に正面に向けない
- 破損、故障などの恐れがあります。

高温、高湿、水のかかる場所、火気の近くでは使わない
- 変色、変形、感電、故障などの原因になります。

羽根にはり付けてある羽根注意ラベルをはがさない
- 羽根注意ラベルは、法による表示ですのではがさないでください。

畳、床面などでベースを引きずらない
- 畳、床面などに傷をつける恐れがあります。

リモコン受信部をかくさない
- 障害物がありますと、リモコンによる操作ができなくなります。

リモコンの取り扱いを大切に
- 踏んだり、落としたり、水をかけたりしないでください。破損、故障の原因になります。

組み立てかた ―包装箱は保管のときに必要ですので、捨てないでください。―

⚠ 警　告

禁止

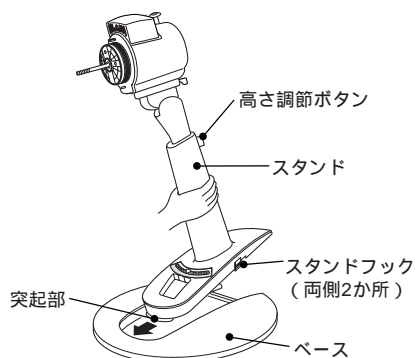
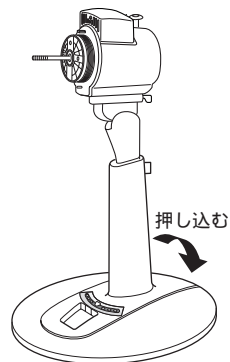
組み立てが完了するまではコンセントに電源プラグを差し込まない
- 感電やけがをすることがあります。

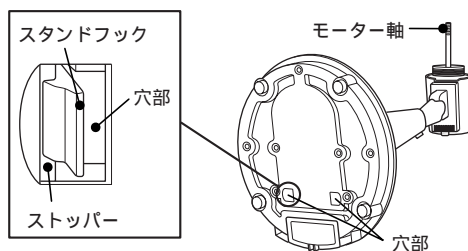
羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない
- モーター部が飛び出して、けがの原因になります。

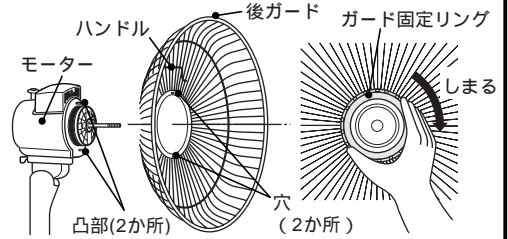
1．ベースにスタンドを取り付けます。

① 安定した場所にベースを置き、スタンド前部にある突起部をベースに差し込みます。

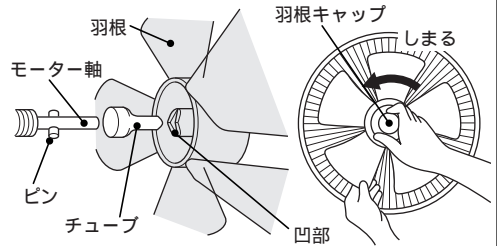
ご注意
- スタンドフックを無理に広げますと、破損の原因になります。
- 組み立てが完了するまでは、リモコンホルダーにリモコンを収納しないでください。リモコンの落下によりけがや破損、故障の原因になります。

高さ調節ボタン
スタンド
スタンドフック（両側2か所）
突起部
ベース

② ベースに「カチッ」と音がするまでスタンドを押し込み、確実にスタンドフックをベースにはめ込みます。

③ モーター軸を上向きに置き、ベース裏側の穴部の中のストッパーにスタンドフックが確実にはめ込まれていることを確認してください。

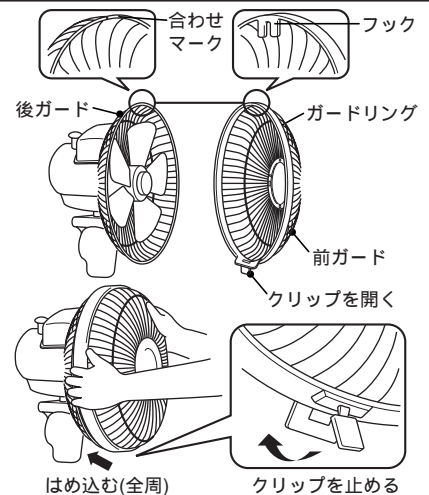
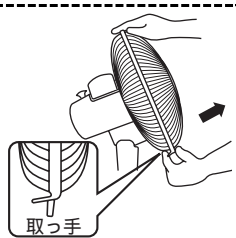
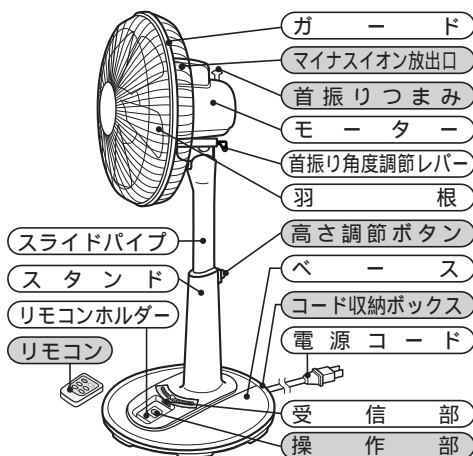
ご注意
- スタンドフックが確実にはめ込まれていませんと、スタンドが外れ転倒や落下などによるけがや破損、故障の原因になります。

2．後ろガードを取り付けます。

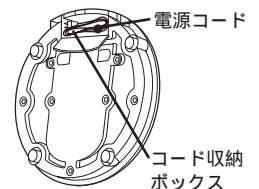
① 後ガードの「ハンドル」を上にして、モーター前面の凸部(2か所)に後ガードの穴(2か所)を差し込みます。
② ガード固定リングを「しまる」の方向に回して確実に締めつけます。

3．羽根を取り付けます。

① モーター軸のチューブを抜き取ります。
●チューブは収納されるときに必要です。保管しておいてください。
② モーター軸のピンと羽根の凹部が合うように、羽根をモーター軸に差し込み、羽根を押さえながら羽根キャップを「しまる」の方向に回して、確実に締めつけます。

● 羽根キャップが確実に締めつけられていないと、羽根が外れてけがをする恐れがあります。
● 組立・分解時、モーター軸やピンなどでけがをしないよう、取り扱いにはご注意ください。

4．前ガードを取り付けます。

① 前ガードについているガードリングのフックを後ガードの合わせマークに合わせて取り付けます。
② 後ガードを押さえ、前ガードを押してガードリングを後ガードに全周はめ込みます。
③ クリップは後ガードをはさみ込むように確実に止めます。

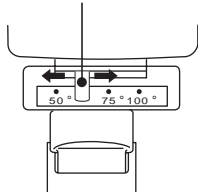
ご注意
● 前ガードが確実にはめ込まれていないと、前ガードが外れけがをする恐れがあります。

■前ガードの外しかた
電源プラグをコンセントから抜き、羽根の回転を止めてからクリップを外し、前ガードを上から押さえてガードリング下の取っ手を手前に引き、下側が外れたら、ガードリングの両脇を外側に広げながら手前に引きます。

各部のなまえとはたらき

コード収納ボックス

●コード収納ボックスより、電源コードを取り出してください。
●収納するときは、電源コードを小さく束ねて収納してください。

ご注意
● プラグをコード収納ボックス内に確実に収納してください。
不完全な収納の場合は、床面を傷つける原因になります。

風向調整のしかた

ご注意

- 安全のため、羽根の回転を止めてから、風向きを変えてください。
  無理に動かすと故障の原因になります。

首振り角度調節レバー

首振り角度調節レバー

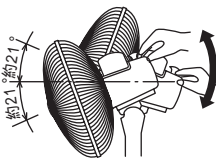
- **首振り角度を変えます。モーターを軽く押さえ、首振り角度調節レバーをお望みの角度(50°、75°、100°)にゆっくり合わせてください。**

2重首振り

- **風向きを左・右に変えたいとき、ベースを片手で押さえ、モーターを持って左・右にゆっくり動かします。**
- **風向きを変えたとき、首振り角度調節レバーが動く場合があります。**

フリーアングル

- **風向きを上・下に変えたいとき、ベースを片手で押さえ、モーターを持って上・下にゆっくり動かします。**

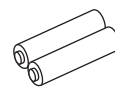
約21° 約21°

首振りつまみ

- **押し込むと**
  ……首振りを行います。
- **引き上げると**
  ……首振りが停止します。

高さ調節ボタン

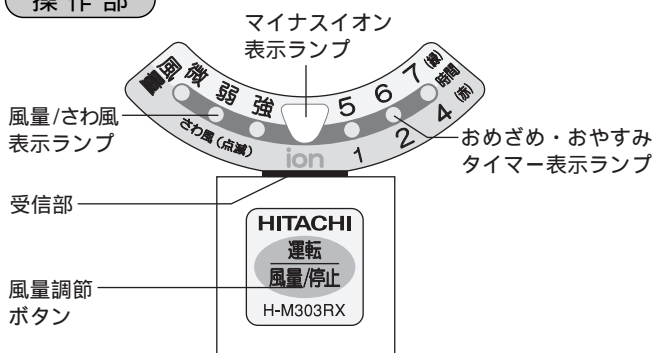
- **一番下から高くする場合は、高さ調節ボタンを押しながらスライドパイプを上げ、高さを調節します。**
  調節した位置で止まります。
- **スライドパイプは一番下に下げたときのみ固定されます。それ以外の位置では固定できません。**

付　属　品

リモコン(1個)

単4形乾電池(2個)
RO3(UM-4)

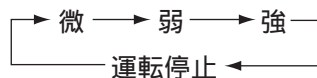
ご注意

- 乾電池は工場出荷時に同梱していますので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

操 作 部

ご注意

タイマーはリモコンのタイマーボタンで操作してください。

風量／停止ボタン

風量／停止ボタンを押すと電源が入り、風量「微」で運転します。
ボタンを押すごとに風量が順送りで切り換わります。

ご注意

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていると、マイコンなどの消費電力により操作部の一部が暖かくなります。長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜いてください。
  (運転を停止しても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると約0.2Wの電力を消費します)
- 運転中に、停電や電源プラグが抜けた場合は「切」になります。始めから操作をやり直してください。

リモコンの使いかた

リモコンに乾電池を入れる

1 ふたを外す。

2 乾電池を入れて、ふたをしめる。

● 付属の乾電池(単4形乾電池2個)のプラス ⊕ マイナス ⊖ を、表示どおり入れます。

乾電池は電池に記載されている注意文をよく読み正しく使う

乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。電池の注意文をよくお読みになり、次の点を特に注意してご使用ください。

- 電池の ⊕、⊖ の向きは、器具の表示どおりに正しく入れる。
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。

万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

● 乾電池は、工場出荷時に同梱のため、自己放電により寿命が短くなっている場合があります。

リモコン

ご注意

運転するときは、最初に「運転／停止ボタン」を押してください。

● 「おめざめタイマーボタン」は、運転停止状態でも操作できます。それ以外のボタンは運転中に操作してください。

マイナスイオンボタン

マイナスイオンボタンを押すごとに、マイナスイオンの「発生」(マイナスイオン表示ランプ点灯)、「停止」(マイナスイオン表示ランプ消灯)が切り換わります。

※マイナスイオンは、滝のそばや森林など、さわやかさを感じる場所の空気に多く含まれています。

リモコンについて

1.リモコンをベースの受信部に向けて、お望みのボタンを押します。

●リモコンで操作できる距離は受信部正面で約5m以内です。受信部に対して斜めになるほど、操作できる距離は短くなります。

ご注意

- インバーター照明器具または電子瞬時点灯照明器具などを使用している部屋や受信部に直射日光が当たる場所では、表示ランプがちらついたり、リモコンで動作しない場合があります。
- 扇風機にさわっているときなどは、リモコンを操作しないでください。

2.リモコンの収納と取り出しかた

取り出しはリモコンの手前の部分を押す

●リモコンで操作をしないときは、リモコンをリモコンホルダーに収納して本体スイッチとしてお使いください。

お願い

- 動作しにくくなった場合は、電池を交換してください。
- 送信部と受信部の間に障害物がないようにしてください。

運転／停止ボタン

「運転／停止ボタン」を押すと電源が入り、風量「微」で運転します。もう一度押すと停止します。

メモリー機能

運転を「運転／停止ボタン」の操作で停止させたあと、再び「運転／停止ボタン」を押すと、停止する前の運転状態で運転します。

- ●タイマー時間はメモリーされません。
- ●おやすみタイマーセット時間が切れて自動停止したときは、「さわ風」と「マイナスイオン」がメモリーされます。
- ●停電や電源プラグが抜けた場合、メモリーは解除されます。

風量調節ボタン

風量調節ボタンを押すごとに、風量が順送りに切り換わります。

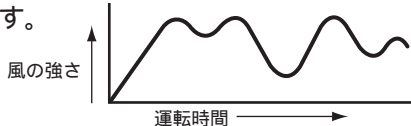
→ 微 → 弱 → 強 →

さわ風ボタン

さわ風ボタンを押すと風量表示ランプが点滅し、風量が「強く」「弱く」変化します。もう一度押すと一定の風に戻ります。

●微のさわ風は、「運転」と「停止」を繰り返していますので、一時的に羽根が止まることもあります。

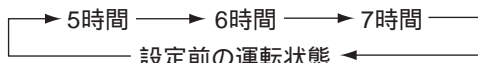
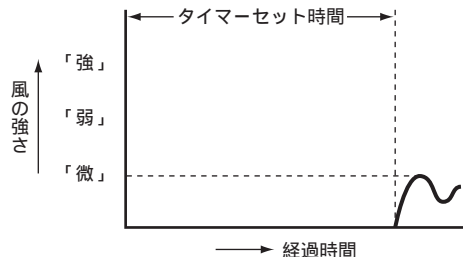
風の強さ

運転時間

おめざめタイマーボタン

おめざめタイマーボタンを押すと、タイマー表示ランプが緑色に点灯し、運転停止状態になります。設定時間になると、風量「微」のさわ風で運転し、マイナスイオンを放出します。
●運転停止状態でもタイマーを設定することができます。

おやすみタイマーと併用する場合

●おやすみタイマーを設定してから、おめざめタイマーを設定します。このとき、おめざめタイマーセット時間には、おやすみタイマーセット時間が含まれます。
※おめざめタイマー表示ランプとおやすみタイマー表示ランプが重なる場合は、表示ランプがオレンジに点灯します。ただし、見る角度によっては緑色、または赤色に見える場合があります。
※タイマー設定後に「運転/停止ボタン」、「マイナスイオンボタン」以外のボタンを押した場合、残りの運転時間は点灯しているタイマー表示ランプ部に示されている時間に再セットされます。

おめざめタイマーボタンを押すごとにタイマーセット時間が順送りで切り換わります。タイマー表示ランプを見ながら押してください。

おやすみタイマーボタン

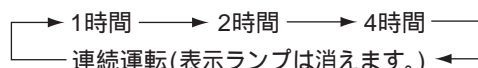
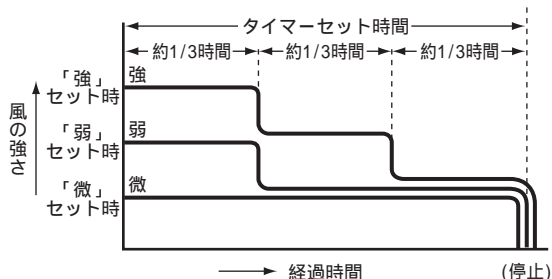
おやすみタイマーボタンを押すと、タイマー表示ランプが赤色に点灯し、時間の経過とともに風量がつぎのように変化していきます。セットした時間が終わると表示ランプが消え、運転が自動的に停止します。

●風量「強」でおやすみタイマーをセットしたとき
セットした時間の約1/3時間ごとに風量が「強」「弱」「微」の順に変化します。
●風量「弱」でおやすみタイマーをセットしたとき
セットした時間の最初の1/3時間は風量「弱」で運転し、残りは「微」で運転します。
●風量「微」でおやすみタイマーをセットしたとき
風量「微」で運転を続けます。

タイマーセット時間
約1/3時間 約1/3時間 約1/3時間
風の強さ
「強」セット時 強
「弱」セット時 弱
「微」セット時 微
経過時間 (停止)

※タイマー設定後に「運転/停止ボタン」、「マイナスイオンボタン」以外のボタンを押した場合、残りの運転時間は点灯しているタイマー表示ランプ部に示されている時間に再セットされます。
※おめざめタイマーと併用する場合の操作などについては、上記「おめざめタイマーボタン」の「おやすみタイマーと併用する場合」をご覧ください。

おやすみタイマーボタンを押すごとに、タイマーセット時間が順送りで切り換わります。タイマー表示ランプを見ながら押してください。

●時間がたつとタイマー表示ランプが切り換わり、残りの運転時間を示します。

お手入れと保管のしかた

⚠ 警　告

電源プラグを抜く	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない** ●感電やけがをすることがあります。
禁止	**羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しない** ●けがをする恐れがあります。
	スライドパイプを縮めたままお手入れをしない ●誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをする恐れがあります。
	ベースとスタンドなどを取り外す際は、電源プラグをコンセントに差し込まない ●感電やけがをすることがあります。

お手入れのしかた

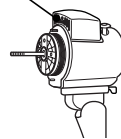
●ガード、羽根は組み立てと逆の順序で取り外し、汚れは水または中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように十分洗剤を洗い流してください。
●マイナスイオン放出口のホコリは掃除機で吸い取ってください。(1ヶ月に1回程度お手入れをしてください。)

マイナスイオン
放出口

⚠ 警　告

禁止

マイナスイオン放出口に指や針金などを差し込まない

●高電圧がかかっており、感電・けが・故障の原因になります。

ご注意
- ガソリン、シンナー、ベンジン、ワックス、灯油、アルコールなどの揮発性の溶剤類、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使わないでください。プラスチックや塗装面が変色したり、破損によりけがをする恐れがあります。
- 化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。
- プラスチック部分に油をつけないでください。変色したり、破損によりけがをする恐れがあります。

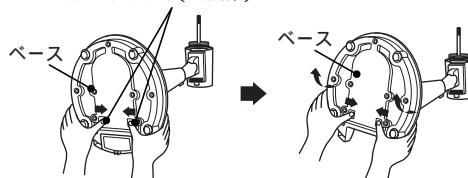
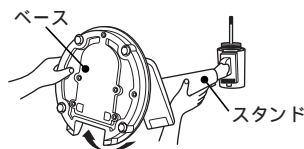
保管のしかた

●組み立てと逆の順序で分解し、モーター軸は、よく汚れをふき取ってからうすくミシン油などを塗り、組み立てるときに抜き取ったチューブをかぶせ、お買い求めになったときの包装箱に収納し、湿気の少ないところに保管してください。「収納のしかた」は包装箱の表示を参照してください。

ご注意
- 扇風機が横を向いているときは、無理に戻さず、首振り運転をさせて正面に向けてください。
- 2重首振りの位置は正面に向けてください。破損、故障などの恐れがあります。
- 羽根、ガード、マイナスイオン放出口などの汚れは「お手入れのしかた」を参照してお手入れを行ったあと保管してください。

ベースの外しかた

① モーター軸を上にして置いてから、ベースを支え、スタンドフック2か所を内側に押しながらベースを手前に引き、スタンドフックを外します。

- モーター軸を下にしますと不安定になったり、故障の原因になります。

② スタンドを支え、ベースを静かに持ち上げ外してください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に　次の点をもう一度お調べください。

症　状	点検するところ	直しかた
羽根が回転しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていませんか？	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。
リモコンで動作しない	●「運転／停止」ボタンは押しましたか？ ●電池が消耗していませんか？ ●電池の入れかた(⊕⊖の方向)が間違っていませんか？	●「運転／停止」ボタンを押してください。 ●電池を交換してください。 ●電池を正しく入れ直してください。
運転中の音が異常に大きい	●羽根はしっかりと取り付けられていますか？ ●ガードはしっかりと取り付けられていますか？ ●羽根とガードが当たっていませんか？	●羽根をしっかりと取り付けてください。 ●ガードをしっかりと取り付けてください。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(10ページ)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または本ページの「一般ご相談窓口」の担当地域にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

8ページの「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って､販売店が修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。

愛情点検

★長年ご使用の扇風機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。
- 回転中に異常な音や振動がする。
- モーター部が異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため､スイッチを切り､コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センターへ**

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55（日立家電守山ビル）
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）

● ご相談窓口の名称、所在地などは変更になることがありますのでご了承ください。

日立扇風機 保証書

持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

<table>
<tr><td colspan="2">形　　名</td><td>H-M303RX</td><td>保証期間</td><td>本体：1年</td></tr>
<tr><td colspan="2">※お買い上げ日</td><td colspan="3">平成　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※お客様</td><td>お名前</td><td colspan="3">様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="3">〒
電話　　（　　）</td></tr>
<tr><td>※販売店</td><td>住　所
氏　名</td><td colspan="3">〒
電話　　（　　）</td></tr>
</table>

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
（ニ）車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
（ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2．この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には一般ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6．本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立家電製品ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

日立 ホーム＆ライフソリューション株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111